

奈良川源流域の植物 (2011年9月)



**アオツラフジ** 果実は藍黒色に熟し、粉白色を帯びる。



**オオアレチノギク** 頭花はとっくり形で、舌状花はほとんど見えない。



**ヒメムカシヨモギ** 頭花はUカップ形で、短い白い舌状花が見える。



**アキノゲシ** 高くのびて淡黄色の花をつける。



**ゲンショウコ** 葉は深く裂け、紅紫色か白色の5弁花をつける。



**タカサブロウ** 翼のあるくさび形の種子が丸く密集した果実をつける。



**ホウキギク** 細長く横に広がった枝先に白い花をつける



**メリケンガヤツリ** 扁平で緑色の小穂が頭状に集まる。



**ネズミノオ** 灰緑色でネズミの尾のような穂がのびる。



**エノコグサ** 長い剛毛のある穂がたれさがる。



**キンエノコロ** 短く黄色い剛毛のある穂が直立する。



**アシ** 太くて固い茎の先に大きな穂をつける。



**ジュズダマ** 壺形の実(苞鞘)が黒褐色～灰白色になって固くなる。



**チカラシバ** 丈夫な茎の先に暗紫色の剛毛を持つ穂をつける。



**ナキリスゲ** 葉は細くてざらつき、黄緑色の小穂をややまばらにつける。